

## ベトナム商工省の貿易戦略と市場多様化

2025年3月6日 作成

カテゴリ ベトナム経済 貿易・輸出入

### ベトナム商工省の貿易戦略と市場多様化

ベトナム商工省は、世界貿易の変化に対応し、経済成長を維持するための戦略を策定している。現在、世界貿易は「脱グローバル化」「貿易保護主義」「予測困難な政策」の3つの傾向を示し、特に米国や欧州市場ではサプライチェーンの変動や環境・労働基準の厳格化が進んでいる。この影響を受け、ベトナム国内の輸出企業は厳しい競争環境に直面している。

2025年2月、米国のトランプ大統領は、国家非常事態を宣言し、カナダとメキシコからの輸入品に追加関税を課した。中国に対しては25%の追加関税を適用し、これに対し中国も報復関税を発動した。こうした貿易摩擦の激化により、ベトナム企業にも影響が及ぶ可能性がある。

ベトナム商工省は、こうした国際的な貿易環境の変化を注視し、適切な政策を提案するため、市場動向の分析を進めている。また、貿易戦略として市場の多様化を推進し、既存の貿易協定（FTA）を活用しながら、新たな市場開拓を進める方針を示している。特に、科学技術の活用により製品の付加価値を高め、世界市場での競争力を向上させることを目指している。

加えて、ベトナム商工省は米国との経済関係の強化にも注力している。両国の貿易は補完関係にあり、ベトナム製品は米国市場での競争力を持つとされる。今後、両国間の貿易政策の調整や新たな投資協力を促進するため、ベトナムと米国の経済対話を強化し、企業間の協力を深化させる方針である。さらに、商工省はベトナム企業の競争力向上を支援し、原材料の供給管理や生産体制の強化を進めている。また、貿易保護政策への対応策として、関税回避や違法な原産地表示を防ぐ措置を強化することで、ベトナムの輸出産業の安定性を確保する方針である。

ベトナム商工省は、世界貿易の変動に対応するため、新市場開拓、FTAの活用、米国との経済関係強化を推進し、企業の競争力向上を支援する。今後も市場の動向を分析し、貿易政策の柔軟な調整を行うことで、ベトナム経済の持続的成長を目指している。

以上